

(様式3)

大津市合流式下水道緊急改善事業 事後評価シート

評価実施日：平成29年2月24日

1. 対象事業	大津市合流式下水道緊急改善事業				
2. 実施主体名称	滋賀県大津市				
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度				
4. 対象事業の進捗状況	下記の内容について、当初計画どおり実施した。 ①汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保 ・ 貯留管渠の整備 (膳所工区) 1.3km (実績) / 1.3km (計画) 【分水人孔及び接続管渠含む】 (大津工区) 2.9km (実績) / 2.9km (計画) 【分水人孔及び接続管渠含む】 ・ ポンプ場、水処理施設の整備 1施設 (実績) / 1施設 (計画) ②きょう雑物の削減 ・ きょう雑物除去装置の設置 11箇所 (実績) / 11箇所 (計画)				
5. 目標の達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ①汚濁負荷量の削減 (分流式下水道並みの汚濁負荷量以下) ⇒ 分流式下水道並みの汚濁負荷量：BOD 182.6 t / 年 → 165.2 t / 年以下 (10%削減) COD 211.6 t / 年 → 201.6 t / 年以下 (5%削減) ②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数の半減) ⇒ 雨水吐き室 11箇所からの年間未処理放流回数：150回 / 年 (分流雨水水質以下を除く) ③きょう雑物の削減 (全雨水吐き室できょう雑物流出を極力防止) ⇒ 全雨水吐き室にきょう雑物流出防止装置を設置 11箇所 【目標に対する達成状況】				
	改善項目	評価指標	対策前 (H15年度)	改善目標	事後評価 (H25年度)
	緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
	① 濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	182.6 t / 年	165.2 t / 年	162.3 t / 年
		COD 放流負荷量	211.6 t / 年	201.6 t / 年	198.2 t / 年
	②公衆衛生上の安全確保	年間未処理放流回数	304回 / 年	150回 / 年	2回 / 年
	② きょう雑物の削減	きょう雑物流出防止装置の設置	1箇所	11箇所	11箇所
※ 年間未処理放流回数は、分流雨水水質以下を除く回数					
改善計画を基に事業を実施し、目標年度までに改善目標を達成した。					
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	汚濁負荷量の削減、年間未処理放流回数の半減が達成できていることから、平成25年度末の事業完了後、対策効果を発している。 きょう雑物の削減施設の整備効果として、雨天時の雨水吐き室の映像確認の結果、きょう雑物の越流が抑制されており、効果を発している。				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	雨水吐き室に設置するきょう雑物流出防止装置については、平成19年度までに整備した2箇所ではロマグスクリーンを設置したが、平成23年度以降に整備した9箇所では、SPIRT21に基づく方法により技術評価された水面制御装置を採用し、工事費及び維持管理費の削減を図った。				
8. 今後の方針	本事業の完了により、改善目標を達成した。今後は、重要影響水域への対応として、更なる汚濁負荷の削減を目指し、高速凝集沈殿処理施設を最大限利用する運転管理手法の検討を行い、簡易処理放流の極力低減を図る。また、水再生センターの再構築に併せて全系列高度処理化を行い、水処理全般のレベルアップを図る。				